



一般社団法人  
未来マトリクス  
2015年度  
活動成果報告

学生と企業を繋ぐ未来のモノづくりネットワーク

一般社団法人 未来マトリクス

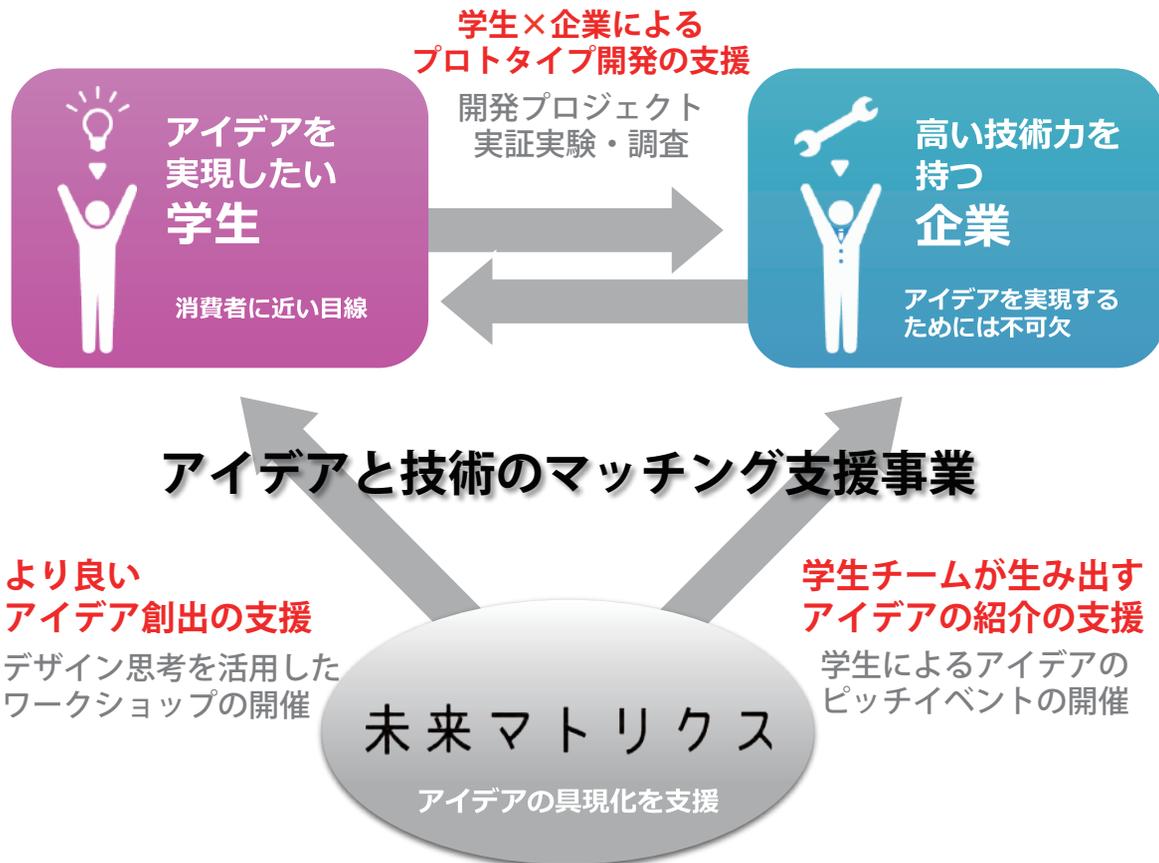
## 未来マトリクスとは

一般社団法人未来マトリクスは、オープンイノベーションによるものづくりを目指す名古屋大学・共感工学ラボの活動を通じて、大学の垣根や産業界・行政へとネットワークを拡大し、地域一帯となった活動へと展開すべく、2015年5月19日に設立されました。

未来マトリクスは、オープンイノベーションによるものづくりを実現するために、未来の視点を持つ学生と、ものづくりのメッカである中部地域の企業が持つ高い技術力をつなぐ、ハブ・プラットフォームとしてさまざまな試みを行っています。

設立初年度である2015年度は、製品構想ワークショップ「具現化ソン」、「アイデアと技術のマッチングピッチ」をはじめとして、さまざまなプログラムを実施するとともに、通常、アイデア創出で頓挫してしまいがちな学生起点のアイデアを、開発プロジェクトで具現化し、実証実験を行うところまでのサポートをしてきました。

本成果報告書は、それらの活動内容について報告するものですが、同時に次年度以降、益々多くの方々に活動理念に共感いただき、仲間を増やすことで、ともにオープンイノベーション実現に向け、さらなるチャレンジを行っていく抱負に代えさせていただきます。



若者からみつける、未来のカタチ。



## CONTENTS

- 00ー 未来マトリクスとは
- 02ー 法人概要
- 03ー 2015 年度スケジュール
- 04ー 2015.6.13「第1回アイデアと技術のマッチングピッチ」実施報告
- 06ー 2015.9~11「具現化ソン 2015 -2nd」実施報告
- 12ー 2015.12.19「第2回アイデアと技術のマッチングピッチ」実施報告
- 14ー 学生チーム開発プロジェクト・実証実験報告
- 23ー メディア掲載情報
- 24ー 2016 年度スケジュール



## 法人概要

### ●法人会員

anno lab

Dia-Log Japan

MIRAI PROJECT

むすびGroup

AISIN

TAMADIC  
創るチカラ、変えるチカラ

valer Holdings

NGK NTK  
スパークプラグ ニューセラミック  
日本特殊陶業

### ●学生メンバー数



名古屋大学／名古屋芸術大学／椋山女学園大学／大同大学／愛知県立芸術大学／中部大学／愛知工業大学／南山大学／名古屋市立大学／中部学院大学／岐阜大学／豊田工業高等専門学校／専門学校HAL 名古屋／中京大学／名古屋外国語大学(順不同)

### ●役員・顧問・スタッフ (2015年度)

#### 代表理事

藤岡 定 (株式会社anno lab)

#### 理事

北澤 順子 (Dia-Log Japan株式会社)

三宅 直也 (合同会社むすびdesign)

牧野 隆広 (株式会社ミライプロジェクト)

石島 寿道 (名古屋大学 大学院工学研究科)

大森 未也 (名古屋大学 共感工学ラボ/QOPL)

#### 設立時監事

山中 英嗣 (あずさ監査法人)

#### 顧問

宇治原 徹 (名古屋大学 未来材料・システム研究所)

水津 功 (愛知県立芸術大学 美術学部 教授)

加藤 容子 (椋山女学園大学 人間関係学部 心理学科准教授)

石黒 祥生 (名古屋大学 未来社会創造機構 特任准教授)

吉田 めぐみ (名古屋大学 共感工学ラボ)

奥谷 浩之 (あずさ監査法人)

竹島 周作 (トーマツベンチャーサポート株式会社)

小倉 克洋 (Dia-log Japan)

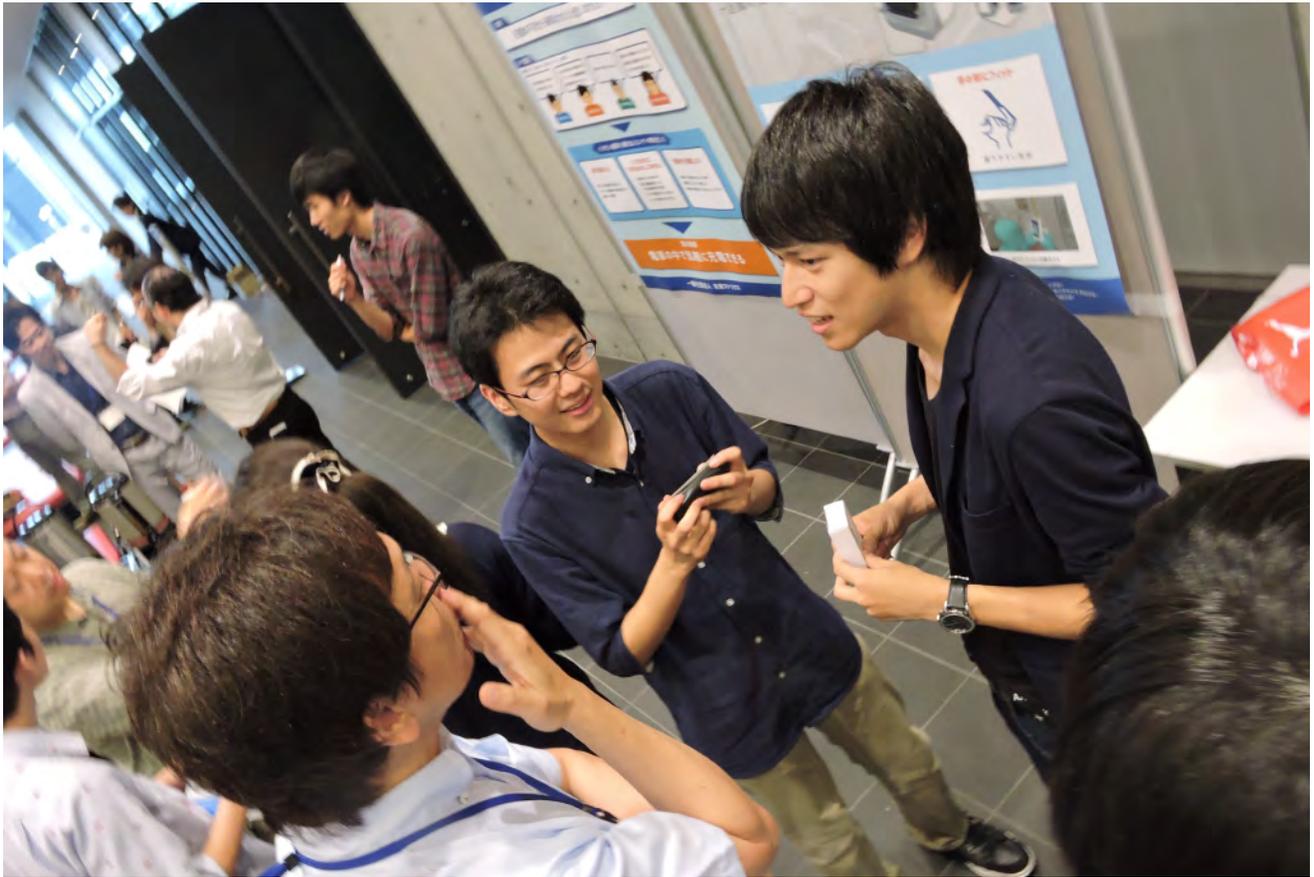
#### スタッフ

浅野 由子 (名古屋大学 共感工学ラボ)

## 2015年度 スケジュール



## 2015.6.13「第1回アイデアと技術のマッチングピッチ」実施報告



2015年3月に開催した「具現化ソン@未来展2015」にて生まれた地下空間で人を幸せにするアイデアを、学生たちが企業や行政の方々にプレゼンテーションし、交流するイベントを開催した。

### 実施概要

【日程】2015年6月13日(土)

【時間】14:00~18:00

【場所】名古屋大学 ES 総合館 ES ホール、ES エントランス

【登壇者・スタッフ】

宇治原徹(名古屋大学)、石島寿道(名古屋大学)、大森未也(名古屋大学)、吉田めぐみ(名古屋大学)  
浅野由子(椋山女学園大学)、荒川 偉洋子(名古屋大学)、富田竜太郎(名古屋大学)、長江 祐樹(名古屋大学)  
…計8名

- ・参加企業 …31社(46名)
- ・参加学生 …4チーム(22名)
- ・取材…中京テレビ3名
- ・名古屋大学産学官連携知財グループ 北岡様

合計 80名

## テーマ

地下空間で、人を幸せにするアイデアを実現する

## プログラム

### 第一部

14:00～14:25 未来マトリクスについて／アイデアピッチについて

14:25～15:25 学生プレゼンテーション

15:35～16:15 ポスターセッション

16:20～16:30 ポスターセッションシール結果発表／TEDxNagoyaU 告知／クロージング

### 第二部

16:30～18:00 交流会

## 実施内容

### 【企業側への目的】

第1回目のマッチングピッチでは、実証実験の場で試してみたいと思うニーズ・アイデアを持つ学生チームを見つけ、開発プロジェクトに進むきっかけを創ることを目的で実施した。

- ・開発プロジェクトでは、学生チーム・未来マトリクスと守秘義務・知財契約を結ぶ。
- ・未来マトリクスは実証可能な場を用意し、企業の皆様には開発資源を用意してもらう。

### 【学生たちのピッチに対する視点】

1. 学生チームが提示するのは、ビジネスモデルではなく、ビジネスのたねであるという視点
2. 学生チームが見つけたニーズに、“はっとする”、“新しい”、“意外とすごいんじゃないか”という視点
3. 実現する方法は必ずしも一つではないという視点

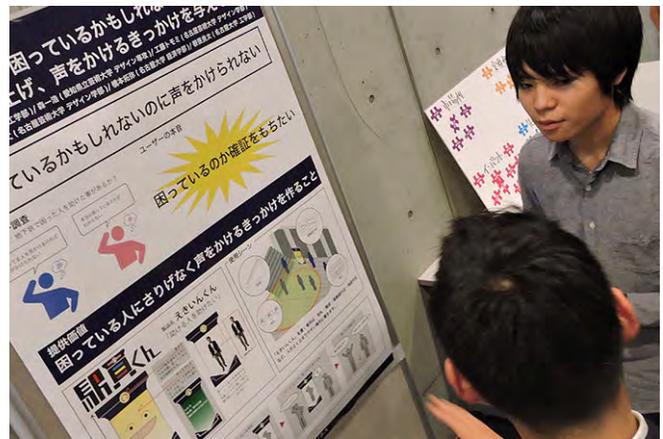
### 【企業側のピッチの参加方法】

- ・プレゼンテーションを聞いてアイデアに“共感”“興味がある”と思ったら入場時に配布したLEDのガジェットで「イイネ!」としていただく
- ・各チームのポスターセッションを聞いて4つの項目に合致しているポスターにe+co.labシールを貼っていただく

### e+co.lab シール投票結果発表

- ①最もインパクトが強い…時をかける少女（時換）
- ②最も先進性が高い…時をかける少女（時換）
- ③最も実現性がある…TuRiPhone
- ④最も市場性がある…ぼくらのソムリエ

・ポスターセッションで詳しいアイデアの詳細を聞き、アイデアに興味を持ち実証実験に向けて進めたいと思ったチームの代表者と名刺交換をしていた。



# 2015.9～11 「具現化ソン 2015-2nd」 実施報告

## ■今回のワークショップの目的

未来マトリクスは、名古屋大学 共感工学ラボの監修のもと通算3回目となるアイデア創出から具現化を目指すワークショップ「具現化ソン 2015-2nd」を開催した。

「具現化ソン 2015-2nd」では、「世代を超えて楽しめるアクティビティ」をテーマとして、新ヘルスケア産業フォーラム 医療・介護現場カイゼン部会と連携し、6日間のプログラムを実施した。

## ■具現化ソン 2015-2nd 開催概要

【日 程】 プレワークショップ：2015年9月15日（火）・9月19日（土）・10月3日（土）

ワークショップ：2015年11月5日（木）・6日（金）・7日（土）

【時 間】 10:00～17:00

【場 所】 9月15日（火）ウインクあいち

9月19日（土）名古屋大学 ES 総合館

10月3日（土）名古屋会議室

11月5日（木）6日（金）・7日（土）ポートメッセ名古屋（メッセナゴヤ 2015 イベント内にて開催）

## 【スタッフ】

メインファシリテーター：石島寿道（名古屋大学）、石黒祥生（名古屋大学）

チームファシリテーター：鎌田 莉佳（愛知県立芸術大学）、加藤容子（椋山女学園大学）、

水津功（愛知県立芸術大学）、杉藤里美（中部産業連盟）、吉田めぐみ（名古屋大学）

## 【参加学生】

Day1：19名 /Day2：20名 /Day3：22名 /Day4：10名 /Day5：15名 /Day6：20名

（名古屋大学・愛知県芸術大学・椋山女学園大学・豊田工業高等専門学校・大同大学・HAL 名古屋・愛知工業大学・立命館大学）

【企画・監修】名古屋大学 宇治原徹

【協力大学・協力機関】中部産業連盟・未来マトリクス・名古屋大学・愛知県芸術大学・椋山女学園大学

【テーマ】 世代を超えて楽しめるアクティビティ

【プログラム】具現化ソンは、「メッセナゴヤ 2015」開催日である 11月5～7日を含む、下記の6日間のプログラムで構成された。

1日目（9月15日）…心理学的観察手法を取り入れたフィールドワークから人々の潜在ニーズを探索する。

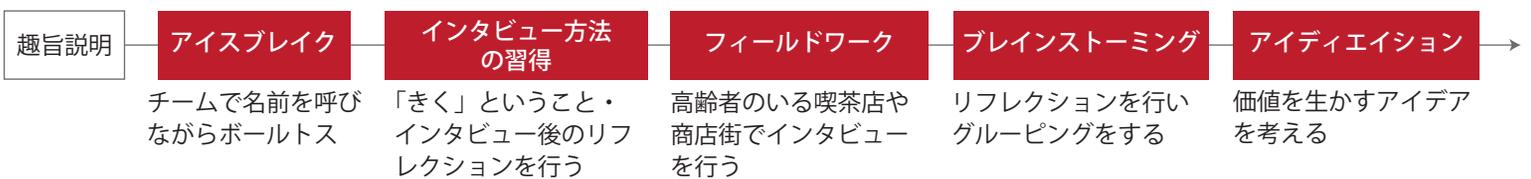
2日目（9月19日）…探索したニーズに基づいて、製品アイデアを創出する。

3日目（10月3日）…製品アイデアの検証・ブラッシュアップをする。

4-6日目（11月5日・6日・7日）…メッセナゴヤ 2015 の会場にて、製品アイデアを持つ学生チームと、協力企業から参加する技術者、さらに出展する企業を巻き込みながら、アイデアの技術的背景の具現化を行う。

## 実施内容とその目的

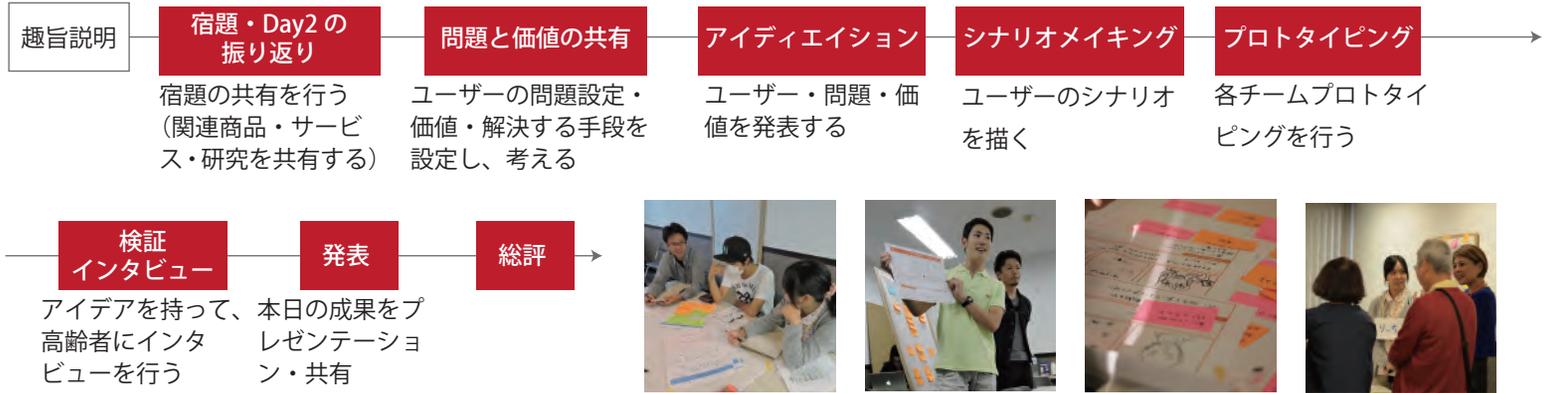
DAY 1 9月15日（火）【個のリサーチ・インタビューから価値創造まで】



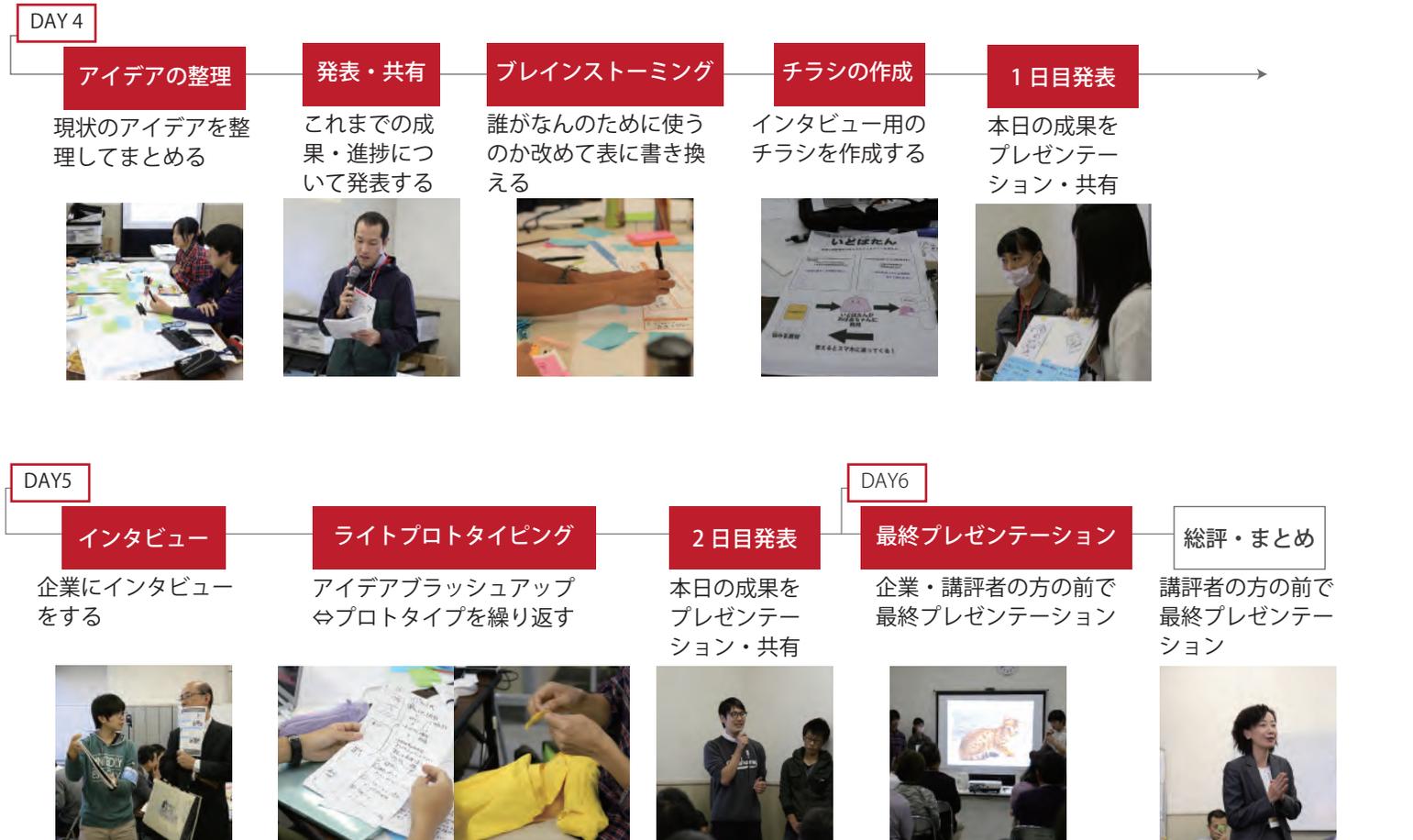
**DAY 2** 9月19日(土) 【価値の提案によるアイディエーションからライトプロトタイピングまで】



**DAY 3** 10月3日(土) 【問題・価値・アイデアを確定する】



**DAY 4,5,6** 11月5日(木) 6日(金) 7日(土) 【アイデアを具現化する】



## ◆A チーム キャットアイ／猫守り

猫を飼いたくても飼えない若者と、猫を飼っているが、自分以外で猫の世話をしてくれる人いなくて困っている高齢者をマッチングさせる2つの製品。「キャットアイ」は若者が高齢者の家猫を遠隔で世話ができるアプリサービス。猫を監視したり遠隔で猫じゃらしや餌やりを操作、若者とコミュニケーションを取ることもできる猫の家「猫守り」。



### キャットアイ機能

- ・ねこじゃらしを動かせる
- ・エサを与えられる
- ・カメラで撮影した映像をリアルタイムで見れる

### 猫守り機能

- ・遠隔でエサを与えられる
- ・遠隔で砂(トイレ)を交換できる
- ・猫の見守り

若者への価値 猫を可愛がることができる

高齢者への価値 猫のお世話をしてくれる人を見つけられる

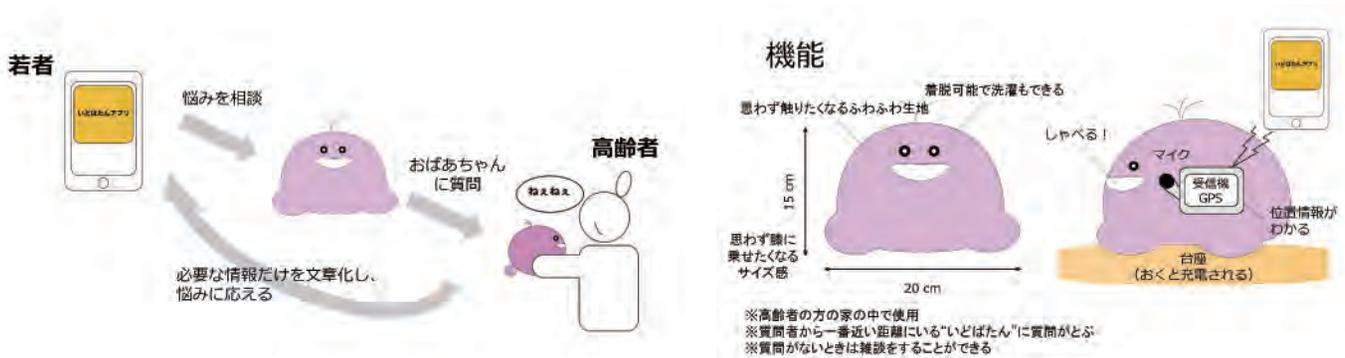
世代を超えることによる価値 世代を超えて猫を共有することができる

・協力企業

- ①伊藤電機株式会社…人感センサーとスマホアプリを連動した防犯・見守りシステム
- ②東洋電機株式会社…各種センサーと無線監視システム、ネット通信を使わず光通信を使った映像配信
- ③中野ハガネ株式会社…名古屋商工会議所「若鯨会」ものづくり研究会の代表

## ◆B チーム いどばたん

地域密着コミュニケーションロボット。引っ越したばかりでネットで調べてもなかなか出てこないその町特有の情報を知りたい若者と、長年その町に住んでいて若者と交流したいと思っている高齢者を繋ぐデバイス。アプリ上で若者が相談すると、高齢者のいる公共の場所に設置してあるぬいぐるみロボット「いどばたん」によってを相談事を聞いてくれる。高齢者が「いどばたん」に相談事の回答を声かけすると、若者のアプリに届くシステム。



若者への価値 地域に根ざした情報を知ることができる

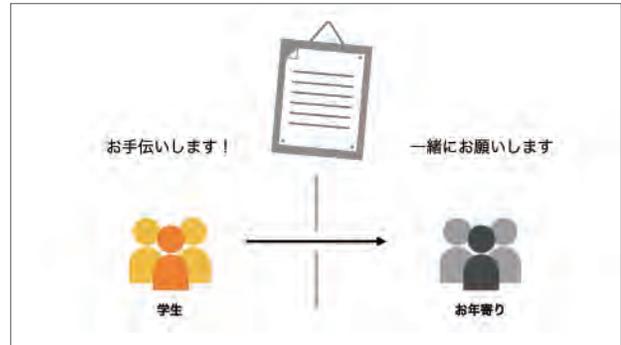
高齢者への価値 ひまつぶしや癒しだけでなく、地域の人役に立っていると感じることができる

・協力企業

- ①株式会社東海情報システム…いどばたんアプリ。スマホアプリ制作地域実績ナンバー1。
- ②株式会社アイセックジャパン…音声のテキスト化。
- ③艶金化学繊維株式会社…触り心地がよく取り外し可能な生地を作る。

## ◆Cチーム Meet Up Smile

高齢者ホストによるキッチン付きミーティングゲストハウス。一人暮らしの学生と若者と交流したい高齢者のコミュニケーションをはかる。高齢者側は清掃や食事を交代で行ない生活している。学生はミーティングスペースとして使え、高齢者と一緒に食事をする事も可能。高齢者と若者は掲示板を介してコミュニケーションをとることができる。



快適なミーティングルームの確保と食事等の負担が軽減

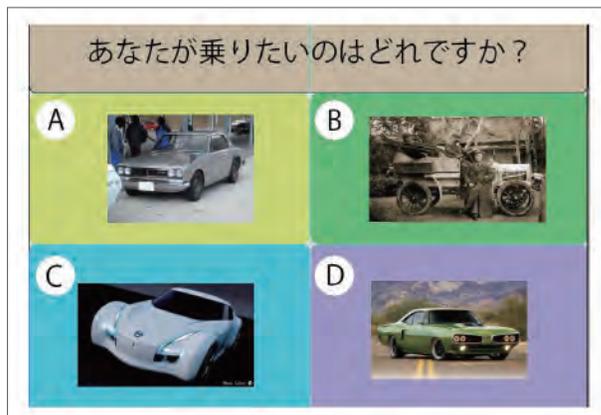
新たな生きがい・話相手できる・安否の確認が可能

2者でもなく、3者でもなく2.5者の世代を超えたコミュニティの場の提供

①株式会社サイエンスホーム…不可能を可能にした真壁づくりの家を提供する。住宅の設計、研究開発事業。住宅を使わせていただき、学生と高齢者の交流の実証実験をする予定。

## ◆Dチーム ランデヴー

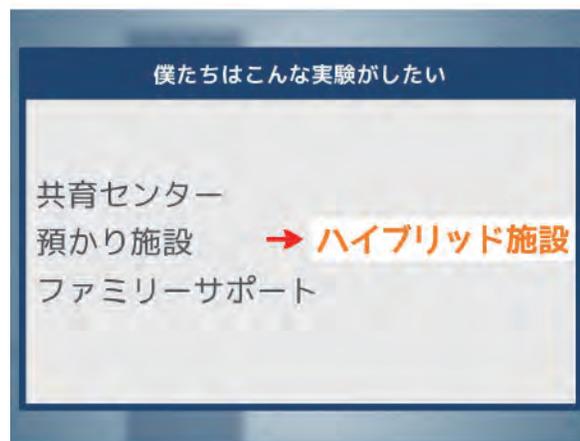
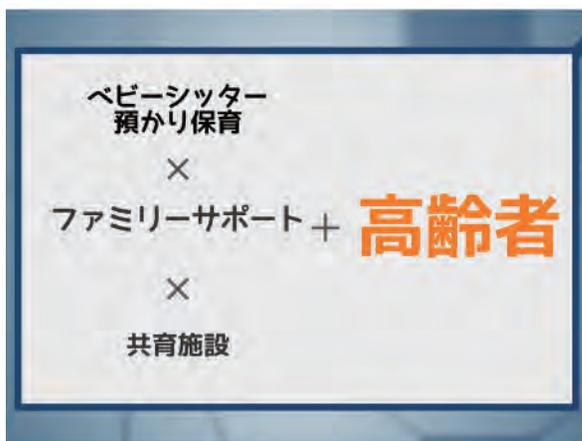
簡単な質問に答えることで、新たな嗜好を提案してくれるサービス。子供がいて個人的な趣味が制限されてしまった専業主婦と、最近定年を迎えて仲間が減ってしまった老人がターゲット。図書館に設置されたデバイスの簡単な質問に答えていくと、自分にあった時代が分かる。そこから自分の新たな趣味に繋がったり、オススメの本・曲などが分かる。また、自分のほかにどんな人が同じ年代だったか表示されるので、新たな交流が生まれる。



世代を超えることによる価値 自分の好みの意外な可能性を認識して、新しい趣味や交流が生まれる

## ◆E チーム Sien Sien

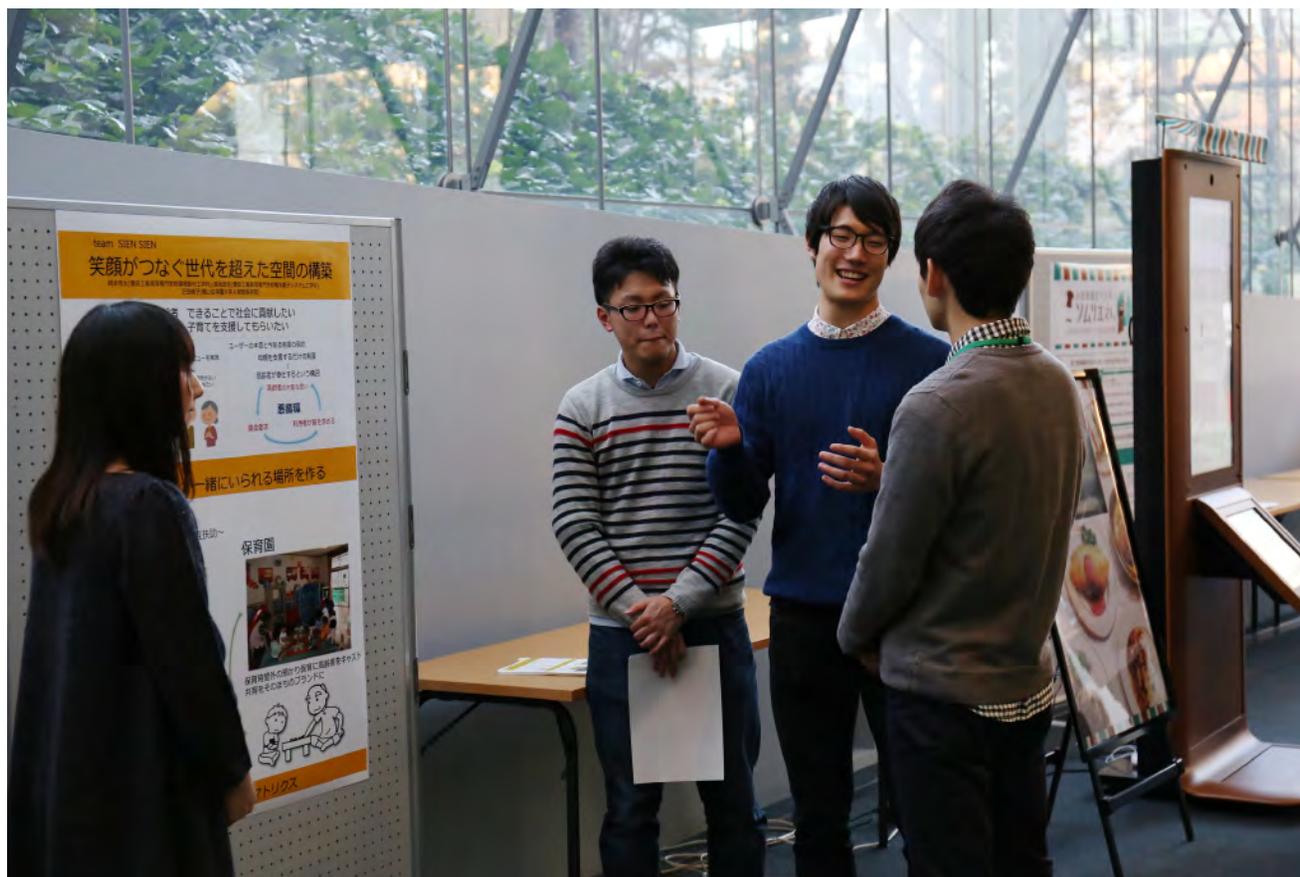
共育センター預かり保育 × ファミリーサポート × 共育施設に高齢者をあわせたハイブリッド施設。多世代の地域のつながりをつくる。子育てを皆で支援する社会ではなく、子育てを通して相互支援する社会を目指す。



世代を超えることによる価値 世代を超えた地域のつながり



## 2015.12.19 「第2回アイデアと技術のマッチングピッチ」実施報告



2015年9月～11月に開催した「具現化ソン 2015-2nd」にて考案された、世代を超えたコミュニケーションのきっかけとなるアイデアをはじめ、学生たちが企業や行政の方にプレゼンテーションし、交流するイベントを開催した。

### 実施概要

【日程】2015年12月19日(土)

【時間】14:00～18:00

【場所】名古屋大学野依記念学術交流館

【登壇者・スタッフ】

宇治原徹(名古屋大学)、水津功(愛知県立芸術大学)、石島寿道(名古屋大学)、大森未也(名古屋大学)、吉田めぐみ(名古屋大学)、石黒祥生(名古屋大学)、荒川偉洋子(名古屋大学)、董芸(名古屋大学)、鎌田莉佳(愛知県立芸術大学)、中野公雄(アルファポイント)…計10名

・参加企業…34社(45名)

・参加行政・大学関係者…名古屋市・中部経済産業局・中京大学(9名)

・参加学生…9チーム(24名)

合計90名

## プログラム

### 【プログラム】

#### 第一部

- 14:00～14:45 トークセッション「アイデアが生まれ、形になる瞬間：最先端の産学連携を考える」  
愛知県立芸術大学 水津功教授、名古屋大学 宇治原徹教授  
愛知県立芸術大学 美術学部 2年 森一浩  
東京システムズ株式会社（境田氏）、JBCC 株式会社（小原氏）、ファースト株式会社（橋本氏）
- 14:45～16:00 学生プレゼンテーション  
・具現化ソン 2015-2nd から 5 チーム  
・その他 2 チーム
- 16:00～16:45 ポスターセッション  
・具現化ソン 2015-2nd から 5 チーム  
・その他 4 チーム
- 16:45～17:00 総括
- #### 第二部
- 17:00～18:00 交流会 ソムリエチーム「具現化賞」授与  
アイデア創出に止まらず、具現化に最も近づいたチームへの表彰

## 実施内容

### 【学生側の目的】

- ・アイデアを実現してくれる可能性のあるパートナーを見つけること
- ・考えていること、思いついたとおきのアイデアが本当に必要か試す場を見つけること

### 【企業側の目的】

- ・名古屋を中心とした意欲ある学生との交流…未来の社会を担う彼らの声を聞く
- ・学生たちが提案する、イノベーションの原石を見る
- ・人材育成（発掘）
- ・新規事業チャレンジのきっかけ
- ・他企業（業種）との交流

### 【学生たちのピッチに対する企業から見て欲しい視点】

アイデアを批評するのではなく、アイデアから形になるきっかけを見つけ出すという視点

### 【企業側のピッチの参加方法】

- ・プレゼンテーションでアイデアを聞く
- ・ポスターセッションで直接プロトタイプやポスターを見ながら学生と話をし、興味を持ったチームと名刺交換をする



## 学生チーム開発プロジェクト・実証実験成果報告

2015年に開催された製品構想ワークショップ「具現化ソン 2015-1st」「具現化ソン 2015-2nd」のワークショップ及び、「第1回・第2回アイデアと技術のマッチングピッチ」をきっかけに企業と学生また行政と産学官連携して行われた開発プロジェクト・実証実験の成果と進捗について報告する。

### ●具現化ソン2015-1st「地下空間で人を幸せにするアイデアを実現しよう」のアイデアから



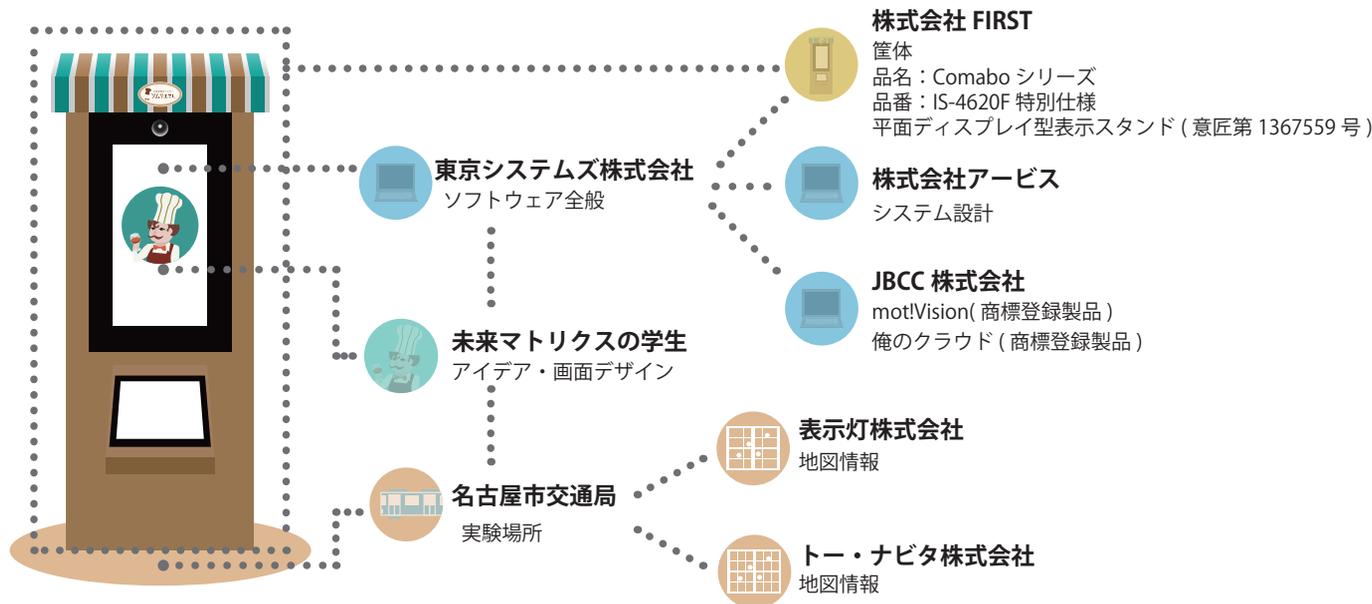
### お食事選定マスター ソムリエさん

複数名で飲食店を決める際に、それぞれが“何を食いたいかわからない・決められない”状況や、地下街の問題として“どこにどんなお店があるのかわからない”状況に対して、お店を提案してくれる電子案内板

【メンバー】◎長田・◎齋藤・名倉・小林・堀野・堀井・高村・清水(名古屋大学)、森(愛知県立芸術大学)、布野(中京大学)、黒田(名古屋芸術大学)、他4名

【連携企業】東京システムズ株式会社・株式会社ファースト・株式会社アービス・JBCC株式会社・表示灯株式会社・トー・ナビタ株式会社





【日時・場所】《第1回》2016年1月15日(金)～17日(日)10:00～20:00 名古屋市営地下鉄名城線栄駅構内  
 《第2回》2016年1月22日(金)～24日(日)10:00～20:00 名古屋市営地下鉄名城線栄駅構内  
 《第3回》2016年2月19日(金)～21日(日)11:00～20:00 名古屋市営地下鉄名城線金山駅 改札外

【実験内容】

- ・第1回…人数・時間に店舗を分類した場合、利用者が提示された店舗にいきたいと思うかどうかを検討
- ・第2回…筐体についての学生がシステムを操作し、店舗をお勧めした場合店舗に行きたいと思うか、また操作する人がどのような基準で店舗を選択したかを調べた
- ・第3回…第1回、第2回の集計結果を踏まえて、より行きたいと思った人が多く出た基準が正しいかを確認した
- ・2～4人の学生がソムリエさんの筐体に付き、筐体を使ってアンケート、直接声をかけてシステムについてと飲食店選びについてインタビューを行った。
- ・1日60組～80組集計でき、9日間で計700組以上のアンケートとインタビューを取得することができた。

Member's Voice

チーム名：ソムリエチーム

アイデア名：ぼくらのソムリエ

「飲食店が決まらない人に  
 納得できる店を提案する  
 アイデアを考えています。」

- 6月 東京システムズさんのプロトタイプ作成がスタート!
- 9月 企業への協力のお原簿、プロトタイプ作成が本格化
- 12月 1月: 第1回第2回実証実験  
2月: 第3回実証実験
- 3月

プロジェクトを通して…

「いつもギリギリのスケジュールで進んで来たけど、色々と至らない点があったけど、僕らの思いに答えて、同じ方向で協力して下さることに感動した。」 名倉

第3回実証実験まで、飲食店に協力のお原簿のしに行ったら、多くの店舗からぜひ協力したいという意見を聞き、とても嬉しく感じた。 長田

企業の皆さまや学生メンバーのおかげで、プロジェクトを終えることができました。様々な人が集まることで発揮される力の大きさを実感しました。協力してくださった皆さまには感謝の気持ちです。はいです。齋藤



## TuRiPhone

電車に乗車した際の入り口付近の混雑を緩和するため、つり革と充電器が合体した TuRiPhone を使うことで、車内に快適な空間を提供する。

【メンバー】◎平松・清水・名倉・小林(名古屋大学)、中川(愛知工業大学)

【連携企業】株式会社コーテック

・非接触充電器「Magconn」を自作プロトタイプのサンプルとして提供。

【プロトタイプイメージ】



【日時・場所】2016年2月18日(木)13:00~15:00 名古屋市交通局藤が丘工場にて

【実験内容】

実験① TuRiPhone 使用時の周囲の人への影響

TuRiPhone を2パターン学生が制作し、4箇所を設置。動いている満員の電車の中での使用していただき、その際の立っている隣の人・座っている人など周囲への影響、TuRiPhone の使用感について実験した。

実験② 乗車する人が「車内奥に行きづらい」と感じるかの検証

混んでいる電車に乗った際に、扉付近に人が立っている中での車内奥への行きづらさについて実験した。

【被験者】

- ・未来マトリクス学生会員5名、それ以外5名
- ・未来マトリクス会員企業3名(タマディック・アイシン・日本特殊陶業)、
- TuRiPhone 協力企業2名(コーテック)、未来マトリクス理事・顧問からの紹介3名(野村證券・あずさ・エイチーム)
- ・名古屋市総務局企画部3名、名古屋市交通局4名

合計…25名

【取材】名古屋テレビ(当日の夕方のニュース情報番組にて放送)



))) Member's Voice

チーム名: TuRiPhone

アイデア名: TuRiPhone

車内奥に魅力を生み出す

つり革デバイス

2015.12月 第1回実証実験

2016.2月 第2回実証実験

(メーテレ、福岡TVに  
ニュースで放送されました)

プロジェクトを通して...

実験を行って、はじめて気づくことが多かった。  
また、スケジュールの管理の難しさ、イベント運営の  
大変さを痛感しました。 平松

実証実験を通じて、自分達のアイデアを具現化  
させていくことで、物づくりの楽しさを感じることが  
できました。今後もこの経験を生かし、モノ作りに  
励みたいと思います。 中川

実際に車両についたTuRiPhoneが見れて  
うれしかった。 清水

●具現化ソン2015-2nd 「世代を超えて楽しめるアクティビティ」のアイデアから



**SIEN SIEN**

高齢者と子供がお互いに居心地の良い居場所をつくることを目指し、イトーファーマシー・三重県玉城町の協力のもと、「認知症カフェ」にて世代を超えた交流について調査を行った。

【メンバー】◎岡本・高坂（豊田工業高等専門学校）・菅沼（名古屋外国語大学）・疋田（椋山女学園大学）

【イベント】具現化ソン 2015-2nd 「世代を超えて楽しめるアクティビティ」

【連携企業】有限会社イトーファーマシー



【日時・場所】2016年2月27日(土)10:00~15:00 三重県度会郡玉城町「協(かなう)」にて

【実験内容】

- ・イトーフーマシーと玉城町の地域包括支援センターの企画イベント「認知症カフェ」にて子供を誘致する実証実験を行った。
- ・子供と高齢者が一緒に食事を作ったり、子供が詳しく知っている若者の遊び(レゴやトランプ)・高齢者が詳しく知っている昔の遊び(あやとりやお手玉)・高齢者も子供も知っている、または知らない遊び(折り紙やジェンガ)をして一緒に過ごすことでそれぞれがどのような行動をしたり、交流があるのか調査した。

【被験者】

- ・高齢者 7名
  - ・子供 7名
  - ・被験者の家族・サポーター 15名
  - ・関係者・スタッフ 21名
- 合計… 50名



Member's Voice

チーム名: SIEN SIEN

アイデア名: MOMO

高齢者と若者(子供)が互いに遊びやすい空間作り

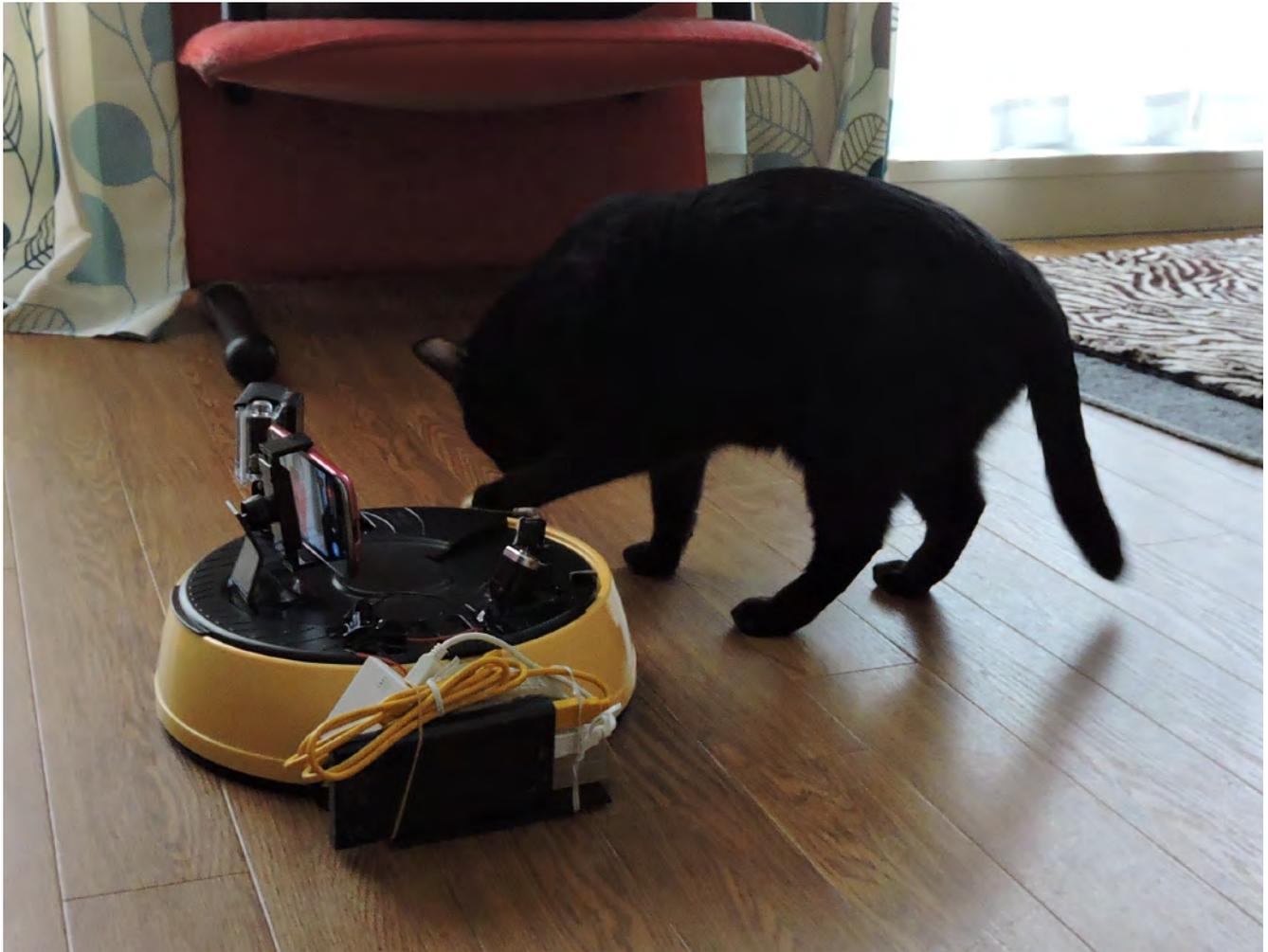
伊藤ファーマシー、三重県、玉城町の支援を受け実証実験を行うことができた。遊びを取り入れ、高齢者と子供を触れあわせることでどのような反応が起るかを確認した。

プロジェクトを通して...

菅沼 沢山の数のサボテンのおかげで子供と高齢者の方の交流が数多く見れ、良い活動となりました。今後、これを生かし笑顔を増やし活動をしたいです。

高坂 自分が普段関わらないような環境に足を踏み出した人々との関わり、多様な価値観を得られた喜びと充実した時間を過ごすことができました。今回僕たちのアイデアに賛成してサポートしてくれた方に感謝です。今後どのような世代もが笑顔になれるような場所作りを目標に様々なことにチャレンジしていきます。

岡本 本当に人に恵まれました。ファシリテーター、未来利用の先生方、アイトーに協力してくれた方。誰一人かけても今回の実験は出来ませんでした。ありがとうございました。



## 猫守

猫を飼いたくても飼えない若者と、猫を飼っているが、自分以外で猫の世話をしてくれる人いなくて困っている人をマッチングさせる製品。猫を監視したり遠隔で猫じゃらしや餌やりを操作し、猫を共有してコミュニケーションを取ることができる。

【メンバー】◎小林・平松（名古屋大学）、木島（愛知県立芸術大学）

【連携企業】NPO 法人 famille・加納 奈央子（医療カイゼン部会女子会メンバー）



【日時・場所】 2016年3月23日(水)13:00~15:00 NPO法人famileにて ※2016年3月30日に第2回を実施予定

【実験内容】

プロトタイプを石黒顧問の技術指導のもと、実験を行った。実験場所に猫と猫の飼い主を配置し、遠隔場所に猫を飼いたいと思っている人を配置する。それぞれの場所でプロトタイプを使った感想をアンケートをとった。

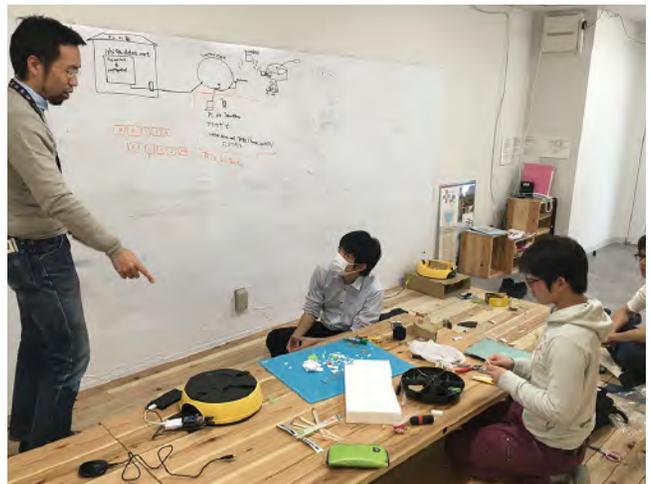
飼っていない人→遠隔で猫の世話をすることで飼っている感覚を得られるか

飼っている人→猫を共有して楽しめるか

猫→どのような反応を示すか、何に興味を持つか調べる

【被験者】

- ・famile 加納様・守隋様
- ・猫 5匹
- ・未来マトリクス学生 5名



Member's Voice

チーム名: 仔猫っ子

アイデア名: 猫寺

猫を飼っていない人と猫を飼っている人、遠隔で猫を世話できる機械。遠隔で猫を世話し、飼っている感覚を与える。

2016.3月 プロトタイプ作成

3月23日 完成実験  
30日

プロジェクトを通して...

自分が頭の中で考えている通りの物は、実際に作ると上手くないことが多い。プロトタイプをとりあえず作ることは大切なんだと実感した。平松チームで行きつた際に皆で同じ問題を共有するというのがとても楽しかった。しかも一つ一つ皆で目標を達成した時は、一人の時と比べてより楽しいと思った。小村チームで活動するきっかけを感じた。ぜひアイデアが形になることを望みます。

## ●具現化ゾン以外のイベント・学生たちの中から生まれたアイデアから

### para-xt

【メンバー】◎布野(中京大学)、小林・平松・齋藤(名古屋大学)、金山(大同大学)、黒田(名古屋芸術大学)、渋谷(豊田工業高等専門学校)

【協力企業】株式会社プロドローン

- ・学生が安価のドローンを購入してプロトタイピングを開始。
- ・名古屋工業大学のドローンを視察して傘部分のプロトタイプ製作予定。

### Member's Voice

チーム名: para-xt

「何も持たなくても雨に濡れない」という価値を実現するドローンの傘

12月 PRODRONE 訪問  
1月 ラジコンドローンで実験  
2月 名工大のドローン視察  
→実験に使わせていただきます!

今後  
・ドローンにつける傘の部分の3Dモデル作  
・実際にドローンの傘を飛ばす

プロジェクトを通して…

一人だったら、「こんなものほしいなあ」と思うだけで動かないままきつと終わって いました。しかし、私にはできない色々なことを達成する力のある人が周りにほたくさんいて、まずそのことを知って感動しました。そして、その人たちと集まって、プロジェクトの実現に近づいていくと実感できるのがすごく楽しかったです! 布野

このチームは、今のメンバー2人は、前にも組んでいたと行っても「まりやう」(= 下)の時(= 幸しい)メンバーアチの仲間が、入ってくる見られるので、人をまきこむわ、お下切を知られた、小林

### Poply

【メンバー】◎川野・長江・竹島・中村・遠山(名古屋大学)、大谷(大同大学)

【連携企業】なし

【日時・場所】2016年1月9日(土)・10日(日)「ぼぶかる5」イベント内

【実験内容】

- ・ARによる店舗紹介・店内Poplyシステムの実証実験「ぼぶり!」を学生たちで実装
- ・イベント内でアンドロイドアプリとして配信

### Member's Voice

未来リーダー女子創出プロジェクト

チーム名: SPICA

アイデア名: Poply

ARによる店舗紹介・道案内アプリ。カメラに写っているお店の情報が奥物大として表示され、検索予約のリンクも可能になります。ARによる視覚的な店舗までの道案内より目的地までスムーズにたどり着くことができます。

1/9(土)・10(日)  
ぼぶかる5にて実証実験

・Poplyを店舗紹介・道案内アプリから観光用へ変更を検討。

プロジェクトを通して…

- ・アプリを開発することによって、アイデアを生み出す方法が学べることができて良かったです。
- ・アプリを開発するまでのスケジュールの立て方が甘かったです。今後の参考にしたいです。 川野
- ・アプリでも使えるアプリを開発するのは主にターゲットとする人やその人の行動を考えたアイデアにするのがとても難しくなりました。 大谷
- ・アプリ開発を数ヶ月間に渡り企画し、実行していく間に、身の回りの製品が作られるプロセスを実感することができました。作っている途中で自分もワクワクできたので良かったです! 遠山
- ・アプリの企画から実装まで関わることができて、実際に形にしてユーザーに使用してもらうとはどういうことなのか、実感できて良かったです。今後も頑張ります。 中村

# メディア掲載情報

## 2014年

- 朝日新聞デジタル「具現化ソン」情報が掲載
- 11/19 (水) マイナビニュース「ビジネスのヒントが集結! - 中小ベンチャー 550社による「新価値創造展」」

## 2015年

- 2/17 (火) 中日新聞「いまドキッ! 技術+デザイン=アイデア製品」
- 3/14 (土) 中日新聞「未来展 2015 モノづくりワークショップ『具現化ソン』」
- 4月 中部経済連合会「Next30 産学フォーラム 4月号」
- 6/29 (月) 日経ビジネスオンライン「地下空間で人を幸せにする方法~大学生が企業に提案した4つのアイデア~」
- 11/8 (日) 読売新聞「学生発想 地下鉄、バスに」
- 11/11 (水) 中日新聞「地下鉄快適化 学生が提案 名大などと連携 具現化へ」
- 11/18 (水) 朝日新聞「地下鉄の魅力 学生が磨く ユニークな提案、実証実験も」

## 2016年

- 1/17 (日) 読売新聞「カメラで分析 店案内 人数把握、メニュー等表示 顔認識目指し実験」
- 2/18 (木) 名古屋テレビ「UP!」にて「TuRiPhone」実証実験の内容が放送
- 2/24 (水) KBC九州朝日放送「アサデス。KBC」にて「TuRiPhone」の実証実験の内容が放送



2014.11.19 マイナビニュース



2015.2.17 中日新聞



2015.3.14 中日新聞



2015.4 Next 産学フォーラム



2015.6.29 日経ビジネスオンライン



2015.11.8 読売新聞・11.11 中日新聞・11.18 朝日新聞



2016.1.17 読売新聞



2016.2.18 名古屋テレビ

## 2016年度スケジュール

		ワークショップ	セミナー・ピッチイベント等
4月	学生 募集		
5月			企画セミナー
6月		企画WS 隔週 水曜夜	
7月			未来展 2016 (予定) 27・28日アイデアプレゼン
8月	学生 ミーティング 隔週水曜	具現化ソン PreWS	
9月		具現化ソン PreWS	
10月		メッセナゴヤ 2016(予定) 26日~29日具現化ソンWS	
11月			
12月			アイデアと技術の マッチングピッチ
1月			
2月			知財セミナー
3月			成果報告会

### 法人・会員サービス

※ワークショップなどは非会員の方も有料にて参加可能です。

- (1) 製品開発ワークショップ「具現化ソン」(年1回~)の参加
- (2) 開発プロジェクトへの参加
- (3) 会員企業向けピッチイベント、ワークショップへの参加(年数回)
- (4) 学生ミーティングでの企業紹介
- (5) WEB会誌の発行(年1回)
- (6) WEBサービス(随時更新/不定期)
- (7) 正会員の社名・ロゴのWEB会誌およびWebサイトへの掲載
- (8) その他、産学連携の個別ワークショップ、学生アドバイザー制度(企業訪問)が会員価格にて利用可能

〈入会費〉 無料

〈年会費〉 年間30万円、もしくは月額3万円



入会のお問い合わせはWebへ

未来マトリクス



### 一般社団法人 未来マトリクス

〒464-8603 名古屋市東区泉一丁目21番27号

泉ファーストスクエア8F ミライプロジェクト内 未来マトリクス事務局

☎052-789-5547 ✉info@miraimatrix.com (担当:石島・大森・吉田)